

平成29年8月6日
今週のベストショット



青松園B 奈多サンデーズ 対 新町ウインズ戦

今季2本目の逆転サヨナラHRを放ったウインズ四番の桐島司選手とハイタッチの安藤一歩樹選手。

写真 ブルーマーリンズ 末松勝祝

奈多グラウンド 台風接近での「強風」を味方につけたのは・・・

レッドサンデーズ (4勝4敗) 00000 0 古賀●、塚本一八島、荒口

奈多フェニックス (4勝4敗) 0515× 11 池見○-実延

3BH: 近藤 (レッド)、実延 (新) (奈多フ)

2BH: 八島 (レッド) 高原 (奈)、実延 (彰)、安藤 (奈多フ) 盗塁: 川原、嶋村 (レッド)

晴天ではあるが、台風の接近で時折り強風と砂埃が舞う奈多グラウンドで行われたレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦。初回レッドサンデーズは先頭の古賀選手が内野安打で出塁。ランナーを進めてチャンスを広げたいところだが、盗塁を失敗。三番八島選手が強風の中、レフト前にポトリと落ちる二塁打で出塁するも四番塚本選手が凡打で倒れ、先制のチャンスを逃してしまう。続く二回も一死から六番近藤選手がレフトオーバーの三塁打で出塁するが、七・八番バッターが倒れ、またもチャンスを逃す。一方奈多フェニックスは二回、先頭の五番能丸選手が四球で出塁。一死二塁のチャンスで七番実延 (彰) 選手がライト前に運ぶ。ホームでクロスプレーとなったがランナーの能丸選手がタッチを掻い潜って見事ホームイン!! 奈多フェニックスに先制点が入る。その

後2四球で二死満塁のチャンスに二番高原選手がセンターオーバー二塁打、さらに三番西藤選手がレフトへのヒットとタイムリーが続き、この回一挙5点を奪う。その後も三回裏からマウンドに上がったレッドサンデーズ塚本投手から1点、四回にも5点と着実に得点を重ねていくフェニックス打線。一方レッドサンデーズは、尻上がりに調子を上げてきた奈多フェニックス先発の池見投手の前に三回以降打線が沈黙し、このままゲームセット。この試合、冒頭で触れた「強風」が外野守備を手こずらせていたが、それは両チームとも同条件。だがランナーが溜まっている状態で強風を味方に付ける打球を放つことが出来た奈多フェニックスに軍配が上がったという結果だった。(写真・記事：三苦フレンズ 御手洗 文男)



強風と砂埃の中、試合開始！



奈多フェニックス先発の池見投手。



初回サード前内野安打で出塁するレッド古賀選手。



レフト前の二塁打を放つレッド八島選手。



レッドサンデーズ先発の古賀投手。



二回裏、八島捕手のタッチを掻い潜って先制のホームを奪うフェニックス能丸選手。



中越え2点タイムリーを放つフェニックス高原選手。



試合終了のセカンドゴロをさばく、奈多フェニックス太田選手と今林（英）選手。

レク軟式7 嵐の前の激戦！両チーム譲らずドロー！

三友クラブ (3勝4敗1分) 4 1 1 2 8 福山、久岡-谷崎

ソルトベイスターズ (7敗2分) 5 1 1 1 8 小山-大門

HR : 柿崎 (三友ク) 大門 (ソルト) 3BH : 柿崎 (三友ク) 2BH : 山本 (三友ク) 田中 (ソルト)

盗塁 : 中内、松尾3 (三友ク) 古田 (ソルト)

台風5号の影響で、ライト方向へ強風が吹き荒れる中行うことになったこの試合、三友クラブの先発はベテラン福山投手。ソルトベイスターズは左腕の小山投手。初回、三友クラブは四球とパスボールでチャンスを作り、中内選手のセンター前タイムリーで先制する。続く柿崎選手のタイムリー三塁打が飛び出し追加点。その後エラーと四球で打者一巡して4点を奪った。その裏ソルトの攻撃、三連続四球で満塁とし、本日四番に入った中村監督がセンター前タイムリーを放ち1点を返す。ここで三友クラブ先発福山投手から久岡投手に交代し、二死とするが連続四死球で押し出し、九番小山選手に2点タイムリーヒットが生まれ5点を返す。両チームともに先発投手の制球が定まらず四死球を絡め大量点となった。二回表三友クラブは、先頭の中内選手が四球で出塁し、内野ゴロで三塁まで進めWPで1点を返し同点とした。ソルトとしては小山投手が立ち直りの兆しを見せ力強いボールを投げただけに勿体無い失点となった。その後両チームともに点を取り合って、ソルト1点リードで迎えた最終回。ここまで同点止まりだった三友打線が意地をみせる。中内選手が四球で歩き、迎えるバッターは三番柿崎選手、ツーストライクと追い込まれながら左中間を破る2ランを放ち8-7、この日初めて三友クラブがリードを奪った。その裏、初勝利を目指すソルトの攻撃、先頭の大門選手がツーボールから打った打球はフラフラっとライトへ上がり、ライトフライと思ったが、台風5号からの贈り物か！強風に乗って右中間をやぶるホームランとなった。これで同点！一死となり田中選手が二塁打を放ちサヨナラの期待が高まるも後続が倒れ8-8で試合終了！両チームともに四球とエラーでの失点が多く、どちらのチームにも勝てるチャンスがあった。どちらのチームにとっても、もったいない試合だった。(記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬)



両チーム監督の握手で試合開始！



左腕から力強いボールを投げるソルト小山投手。



三友クラブ先発の福山投手。



リリーフで登板した、三友クラブ久岡投手。



先制のホームを踏む、三友クラブ大坪選手。



反撃の狼煙を上げた、ソルトベ이스ターズ中村監督。



遊撃手で安定した守備をみせたソルト酒井選手。



盗塁を決める三友クラブ中内選手。



一時逆転となるHRを放った三友クラブ柿崎選手。



最終回、同点となるHRを放ったソルト大門選手。

青松園B 最終回到ドラマが！！今シーズン2度目の逆転サヨナラアーチ！！桐島選手！！

奈多サンデーズ（2勝5敗1分） 1500100 7 江口●ー野々下

新町ウインズ（6勝3敗） 2000024× 8 藤田○ー今林

HR：桐島、安藤（新町ウ） 3BH：早田（新町ウ） 宮口（奈多サ） 2BH：泉（太）（新町ウ）

前回、無念の不戦敗となった奈多サンデーズ対上位に食い込むにはこれ以上落とせない新町ウインズとの対戦。初回サンデーズは、一番川上選手がライト前に落ちるヒット、続く二番宮口選手はレフトの頭を超え全力疾走でホームを狙うも足がからみホーム直前にて転倒、タッチアウトで1点のみ。一方ウインズは一番泉（太）選手がライト前ヒット、続く二番安藤選手はレフト線へ左打者特有のきれいな打球の2ランHRで逆転。二回表サンデーズは、久しぶりのサードを守る田中監督兼選手のライト前ヒットから始まり、一番川上選手、二番宮口選手の連打、鳥羽選手の技ありレフト前ヒット他エラーも絡み、一挙5点をもぎ取って試合を優位に進める。五回表にはシニアで活躍中の前田選手のタイムリーで1点追加し、試合時間も無くなりかけて勝利が見えてきた。一方のウインズは五回まで江口投手に押さえられ3安打のみ。このまま成す術なしかと思われた六回裏、ここまでノーヒットの四番桐島選手のサード強襲ヒットから二死後の代打渡辺選手がライト前タイムリーで1点。更に代打で出場の早田選手がサード線を抜ける三塁打を放ちこの回2点目。3点差まで追い上げ押し寄せムードで藤田投手の打順を迎え期待がかかるが、ショートフライで3アウト。この時点で残り時間は3分！！間に合った！！最終回に入る。ここからメードドラマがはじまる！！迎えた七回裏の攻撃、一死後に一番泉選手がライト前ヒット。続く安藤選手はお得意のピッチャー前バントヒット、続く三番今林選手は、狙いすましたように初球を狙い三遊間に綺麗なヒットを放ち1点、ここで四番桐島選手。ソルトベ이스ターズ戦での逆転サヨナラ2ランが脳裏に浮かんだまさにこの瞬間、またしても桐島選手の左中間に飛び込む3ラン！！何と何と最終回の逆転サヨナラ劇は桐島選手にあるのか、新町ウインズの全選手の期待をもの見事にやり遂げ、試合終了。新町ウインズのチーム力は、本当に最後まで諦めず、監督自らもサンデーズの攻撃中にナインに対して、ベンチから死ぬ気で守れ！！と発言されていた言葉に本日の結果が表れていた試合でした。（記事・写真 ブルーマーリンズ 末松勝祝）



試合前、まだ来ていない選手と連絡を取る田中監督。



力投のウインズ藤田投手。



一回表 サンデーズ宮口選手の三塁打。



一回表 サンデーズ宮口選手のホームイン前転倒。



一回裏、2ランを放ったウインズ安藤（一）選手。



五回表、シニアでも活躍中の前田選手のセンター前。



まだまだ現役のお二人！富安選手、前田選手。



六回裏、チャンスメイクはこの人桐島選手。



がっちりキャッチするサンデーズ田中監督兼選手。



六回裏、代打でレフト線三塁打を放ったウインズ早田選手。



七回裏、泉太一選手の激走。



七回裏、逆転サヨナラ3ラン！ウインズ四番桐島選手！



本日のヒーロー！左から安藤一步樹選手、泉太一選手、今林孝智選手、桐島司選手。

青松園A まさか最終回に・・・。

雁の巣ライナーズ（4勝3敗） 0 0 0 0 1 2 3 有馬●—明瀬（航）

奈多クラブ （9勝） 0 1 3 0 0 0 4 今林（瑠）○—安河内

HR：安河内（奈多ク）、明瀬（航）（雁の巣） 2BH：上野、馬場口、安河内（奈多ク） 中口（雁の巣）

8月6日の青松園Aグラウンドは、強風が砂埃を巻き上げるやや難しいコンディションの中でライナーズと奈多クラブの一戦を迎えた。先攻ライナーズは先頭の明瀬旭選手がいきなり相手失策で出塁するも、盗塁死となり三者凡退。後攻の奈多クラブも、初回の攻撃を3人で終え両チーム共に静かな立ち上がり。試合が動いたのは二回裏。簡単に二死を取られた奈多クラブだが、六番安河内選手がバット一閃、オーバーフェンスで先取点を挙げた。この強烈な打球で勢いづいた奈多クラブは死球、安打、四球で満塁とすると、一番今林祐将選手がレフト線への痛打を放つ。しかしこの外へ切れる難しい打球をライナーズ今林楓太左翼手が好捕し追加点を防いだ。しかし勢いづいた奈多クラブ止まらない。続く三回も3連続二塁打等で3点を追加する。何とか反撃したいライナーズだが、失策と四球の走者のみで安打を放つことができない。両チームが無安打無得点を意識しだした五回も、三振、サードフライで簡単に二死を取られる。ライナーズベンチに嫌な雰囲気は漂い始めたが、六番明瀬航選手がこの空気を替えた。鋭い一振りから放たれた打球はライナーとなりレフトを超えた。快足を飛ばして本塁打とすると、ベンチも息を吹き返した。六回も二死後に3連打で2点を返し、いよいよ1点差。残り少ないイニングで1点を争う好勝負となったが、六回裏二死の時点で1時間14分50秒を経過し、次のイニングに進むことができなかった。この好勝負、できれば七回まで見たかったが、規定により奈多クラブの勝利。今林監督は安堵、岩崎監督には無念の1時間15分となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：橋村 喬）



あわや無安打無得点のピッチング、奈多クラブ今林瑠生投手。



本塁打と二塁打で強力援護、安河内選手。



ライナーズ四番宇野選手のフルスイング。



渋い表情のライナーズ岩崎監督。首元に Boss の刺繍。



五回表、追撃の本塁打を放つライナーズ明瀬航選手。



奈多クラブ今林辰也監督「代打、俺」に備えて素振り。



奈多クラブ勝利バッテリー、安河内捕手(左)と今林瑠生投手(右)。

第16週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第16週、8月6日は4試合が行われました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、先攻のレッドがスコアリングポジションまでランナーを進めるもあと1本が出ない間に、フェニックス打線は二回裏から本領発揮。10本の長短打を集め11点を奪うと、フェニックス池見投手が三回以降三塁を踏ませないピッチングで0-11の完封勝利。両チーム共に4勝4敗の5割となった。

雁レク7の三友クラブ対ソルトベイスターズ戦は、両チーム合わせて12四死球で点の取り合いとなった。最終四回の三友クラブ柿崎選手とソルト大門選手のHRがどちらに転んでもおかしくない一戦に花を添えた。

青松園Bの奈多サンデーズ対新町ウインズ戦は、序盤からリードを広げるサンデーズに対し、5点ビハインドで迎えた六回裏に四番桐島選手が口火となり2点、最終七回には一死から三連打で2点差として、またしても四番桐島選手が値千金の逆転サヨナラ3ランで7-8Xの劇的勝利。

青松園bの雁の巣ライナース対奈多クラブ戦は、三回までに4-0とした奈多クラブは、今林瑠生投手も四回まで無安打に抑え楽勝かと思われたが、五回表に1点、六回表に2点を取り1点差と昨年王者を追い詰めるも時間切れで奈多クラブが3-4で辛くも逃げ切った。暑さで終盤追い上げられることの多い奈多クラブだが、全勝を守った。

お盆を過ぎ、秋の気配というか梅雨に戻ったような雨が多い日本列島ですが、何とか日曜日は晴れて順調に試合を消化したいですね。